

# 病名【 前立腺がん 】 根治的前立腺全摘術を受けられる

様へ

経過	病棟	号室	主治医	担当医	担当看護	特別な栄養管理必要性の有・無				
月日	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3～4日目	手術後5～6日目	手術後9日目以降	退院前日	退院日
治療・処置	リストバンドを装着します。  普段飲んでいるお薬があればお知らせ下さい。 入院中の内服薬について確認します。 確認のため、薬を飲んだ後の空袋は残して置いてください。  	購処置をします。  16時に下剤を内服します。	手術は 〃 頃です。 全身麻酔で行います。(治療の時間は当日の状況により変更になる場合があります。看護師が声をお掛けするまでお部屋にてお待ち下さい。)	手術中より点滴が開始となり、病棟に戻ってからも継続となります。  手術後はICU入室または個室になります。(2人部屋の場合もあります)  酸素マスクを指示の時間までつけます。  鼻から管が入る事があります。  血栓予防の機械を足につけます。	医師の指示で腸管の働きを良くするための内服薬が開始されます。また医師の指示で持参薬の再開をします。 朝、血栓予防の機械をはずします。	平日、8:30～9:00頃に医師の回診があります。				
検査・測定	入院時に身長・体重測定と体温・血圧を測定します。  輸血のための採血をします。  	手術前に体温・血圧を測定します。	脈拍・血圧を測る機械をつけ、継続的に測定します。  	朝、採血をします。  午前中に機械をはずします。その後は必要に応じて体温・血圧を測定します。  ベッドで胸とお腹のレントゲン写真を撮ります。  	体温・血圧を測定します。					
食事	昼から食事が出来ます。食事の内容・形態・量などを変更することも出来ますのでご相談下さい。	16時から禁食となります。医師から経口補水の許可がある方は翌日指示された時間まで飲水が出来ます。(別紙参照)	禁飲食です	医師の診察後から水分がとれます。	昼から食事が始まります。食事は3分粥食から始まり、徐々に普通食になります。					
清潔	シャワーに入っていただきます。			看護師がお手伝いをし、体を拭いたり着替えをします。	医師から許可が得たらシャワーに入れます。					
排泄			手術後尿の管が入ります。		医師の指示で尿とお腹の管が抜けます。					
活動	特に制限はありません。病棟を長時間離れる際は看護師に声をお掛けください。		ベッド上安静となります。用事のある際は看護師に声を掛けて下さい。	歩くことができます。始めは看護師が付き添い一緒にいきます。	特に制限はありません。病棟を長時間離れる際は看護師に声をお掛けください。					
患者・家族の皆様への説明等	医師より入院・手術についての説明があり、同意書をお渡します。記入後、看護師にお渡し下さい。  看護師より、入院生活・病棟内の説明があります。(入院案内に同様の内容が記載されています。)  手術に必要な物品を揃えて下さい。	麻酔科の医師より説明があります。    <b>準備していただきたいもの</b> ①和式の寝衣 3枚 ②T字帯2～3枚 ③長方形の紙おむつ(ニューソフラビレン)10枚程度 ④腹帯2～3枚	手術の前に排尿を済ませ病室でお待ち下さい。入れ歯、メガネ、指輪などははずしておいて下さい。寝衣のまま歩いて手術室へ行きます。用意した物は手術室に持っていくます。  面会の制限はありません。手術中、ご家族の方は手術待合室でお待ち下さい。(手術待合室を離れる場合は病棟の看護師までお知らせ下さい。)	手術後、医師からの説明があります。(後日になる場合もあります。)  痛みがある時、気分の悪い時は看護師に声をお掛け下さい。  	水分は多めに取ってください。1～1.5Lくらいが目安です。水分を多くとり尿を多く出すことが、排尿時痛・血尿の改善・感染予防に有効です。  尿管を抜いた後、尿がでなくなることで、漏れることがあります。排尿状態の確認のため記録をしていただきます。  退院後の生活についての説明をいたします。					

経過は個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ね下さい。(上記内容は変更になる場合があります。)

患者署名欄

説明者